



令和7年度 タウンミーティング

～ 教育行政について ～

古市こども園イメージ図



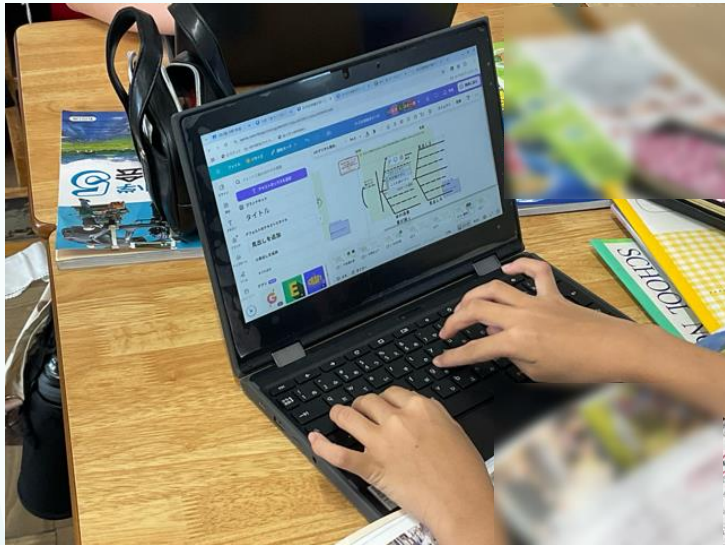
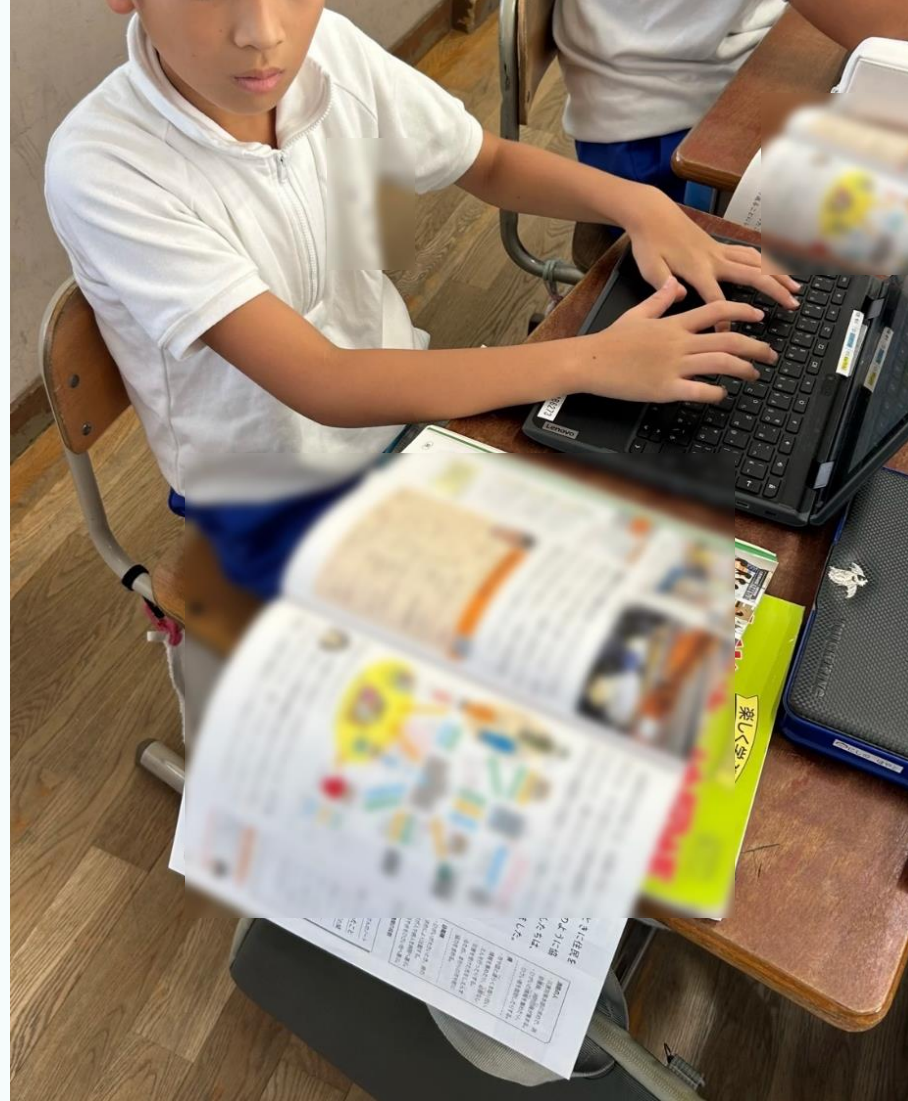
学校給食センターの新築移転



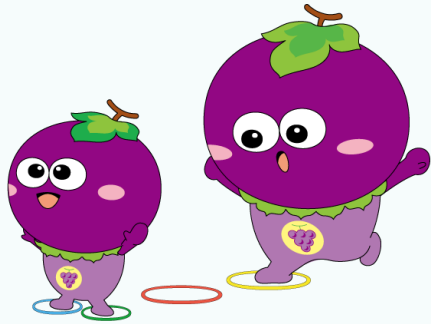
中学給食の全員喫食



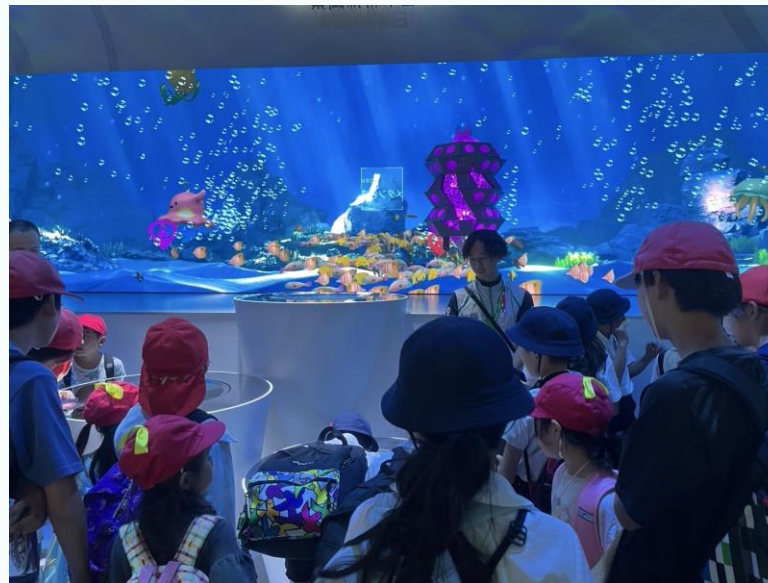
児童・生徒1人1台のタブレット端末の更新



LICはびきのキッズスペース



大阪・関西万博への招待事業にかかる交通費全額助成



災害用物資の備蓄倉庫

コンテナ型の防災倉庫



中央スポーツ公園における倉庫



災害時の備蓄品

※備蓄品の写真はイメージです。実際の備蓄品とは異なる場合があります。

非常食セット



発電機



子ども用おむつ



簡易トイレ



災害用トイレ



下水道事業



管渠更新工事



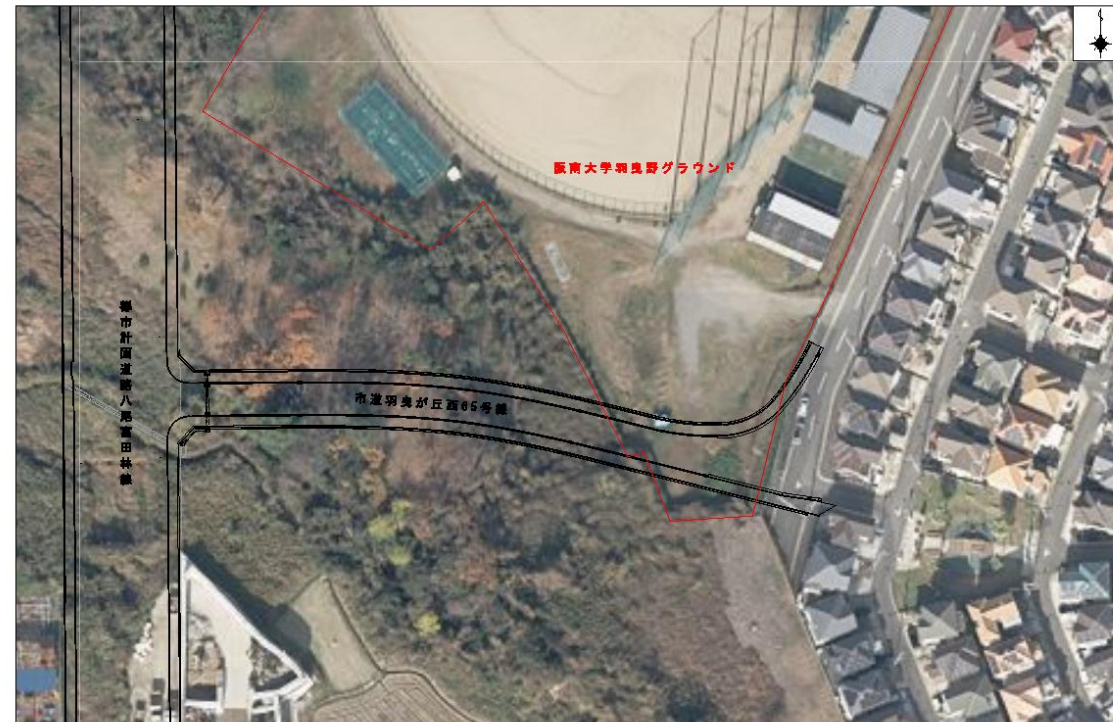
碓井ポンプ場

道路事業（羽曳が丘西65号線）

位置図



道路計画平面図
S=1/300

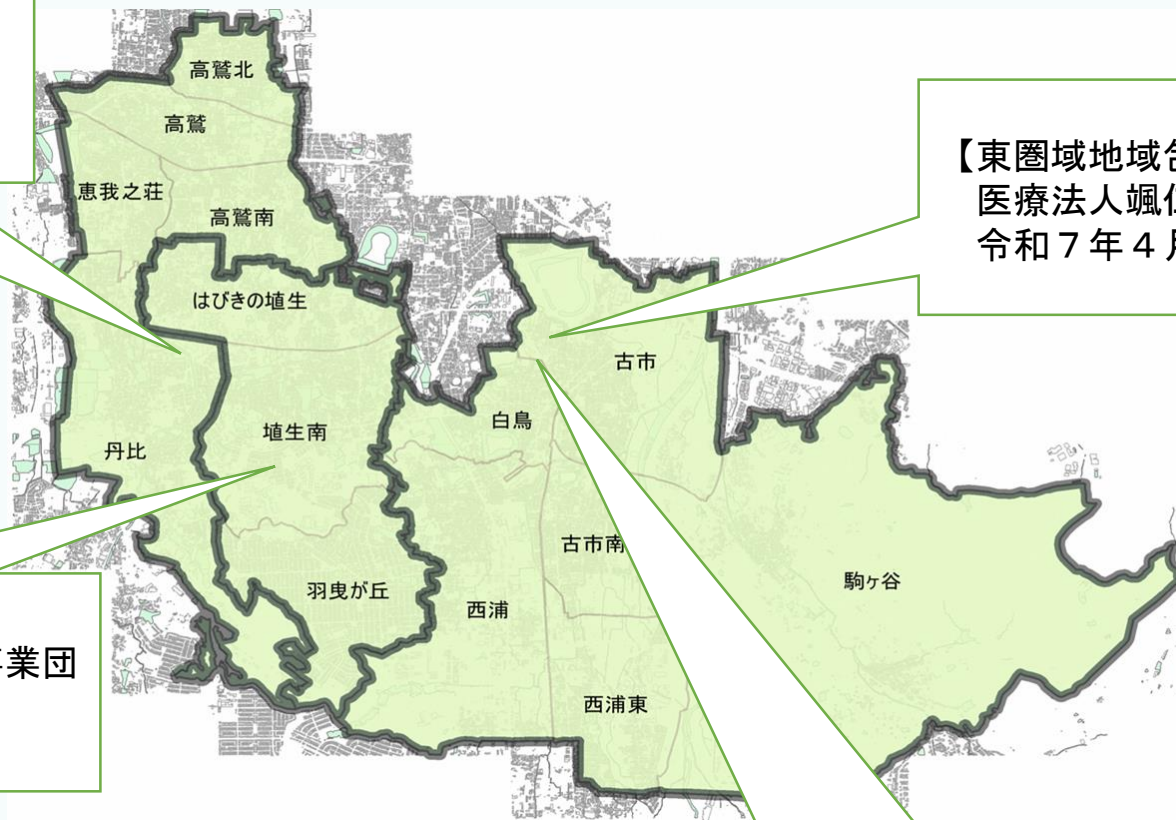


東圏域に民間事業者による 地域包括支援センターを開設

【西圏域地域包括支援センター】
医療法人はあとふるに委託
令和4年4月1日開設

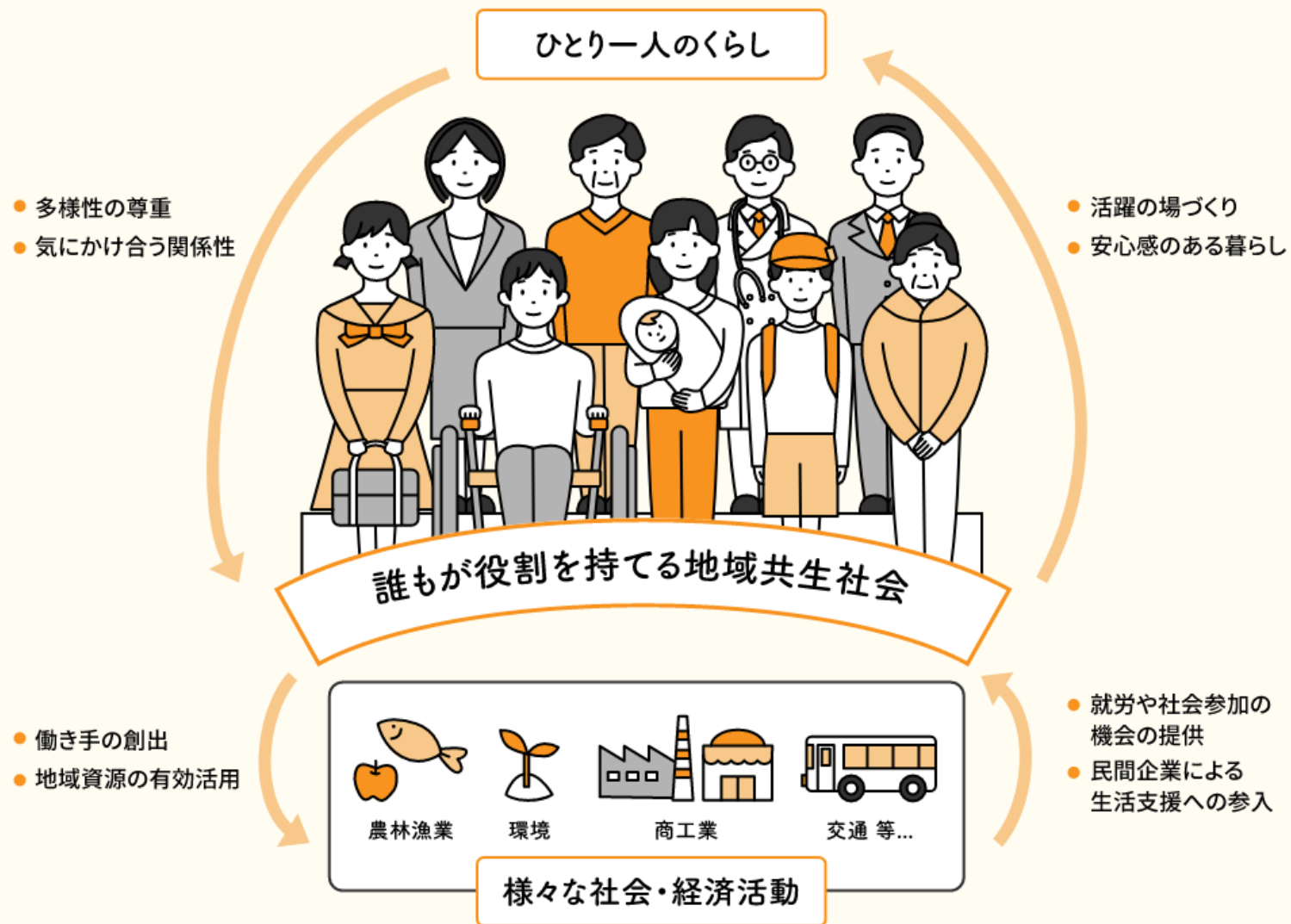
【東圏域地域包括支援センター】
医療法人颯仁会に委託
令和7年4月1日開設

【中圏域地域包括支援センター】
社会福祉法人四天王寺悲田院事業団
に委託
令和5年4月1日開設



【羽曳野市地域包括支援センター】
市（地域包括支援課）に直営設置

重層的支援体制整備事業を本格的に実施



人と人、人と社会が
つながり支え合う



「地方創生SDGsフェス」や「大阪ウィーク」への出展

- ▶ 大阪・関西万博期間中のイベントとして、府下43市町村が参加する「大阪ウィーク（春・夏・秋）『大阪43市町村の祭典』や内閣府主催の「地方創生SDGsフェス」などに参加、国内のみならず海外の方へも羽曳野市の魅力を大いにアピールしました。



「伝える広報」から「伝わる広報」への転換

- ▶ これまでの行政からの情報発信のあり方を改め、市民と行政が相互に意思の疎通を効率よく図れるよう、専門人材のノウハウを活用した戦略的な広報・プロモーションを展開。



「行かない・書かない・待たない」窓口体制の検討／デジタル技術を活用した業務プロセスの見直し、新庁舎における I C T 設計

行かない

- ・ オンライン申請・手続きの整備
- ・ デジタルツールの積極的活用

など

書かない

- ・ タブレットなどを活用し記入の手間削減
- ・ サービス提供速度の向上

など

待たない

- ・ 効率的な業務処理
 - ・ 申請データなどを活用した組織間の連携
- など



I C T 設計

本市の現状と課題

不安や悩みの多様化

不登校児童生徒数の増加

指導力格差・教員養成

働き方改革

教科担任制の実施

【実施校】

全校にて実施(一部教科担任制も含む)

【教科】

算数・国語・理科・社会・体育・家庭科・音楽 等

期待される効果

組織的な生徒指導対応

早期発見・早期対応

相談体制の充実

指導力向上・学力向上

誰もが安心して学習できるように

チーム担任制の実施形態例

※例 3クラスを4人の担任がローテーションして担当していく。

授業時数(週当たり)

ローテーション期間は原則1か月
一学期中に1周する



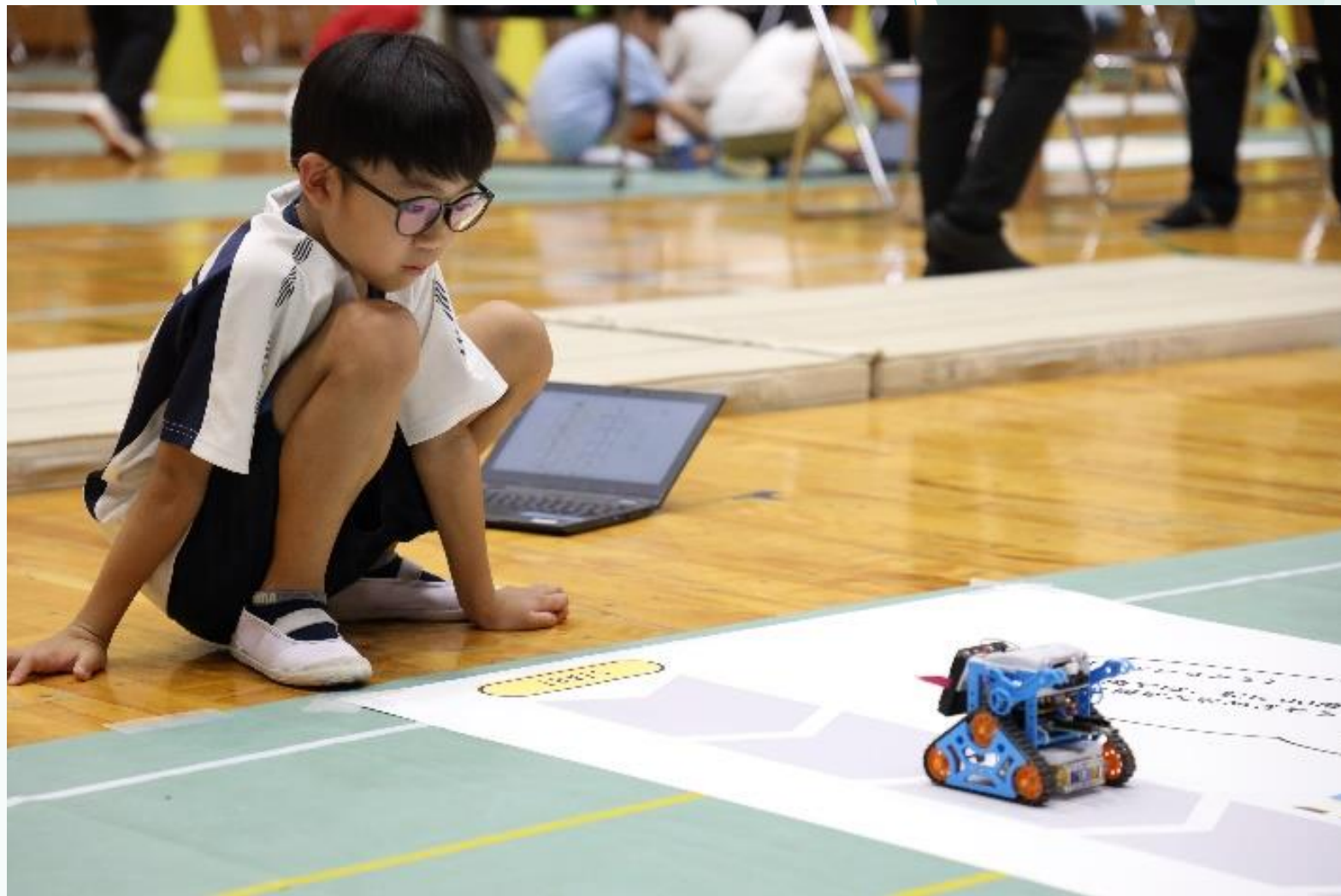
※実施形態は各校の課題やねらいによって形態を変えて実施

R6～ 埴生南小学校

R7～ 丹比小学校・羽曳が丘小学校
・はびきの埴生学園(前期)

介助員の増員 R4 3名 ⇒ R5 5名 ⇒ R6 8名 ⇒ R7 12名

はびきのプログラミングDAY2025



市内の小学校・義務教育学校 3～6 年生の児童を対象
学習用タブレット端末を利用してプログラミングロボットを動かす体験

アンケートのご協力をお願いします。



ありがとうございました。

